

# らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

## 初めての夜小説賞の結果発表- 2019.06.01 Sat

---

こんにちは、らくだです。

コバルトで開催された「初めての夜小説賞」の結果発表がありました。

応募総数は 56 本。

発表ページに編集長の総評が載っています。

ジャンル不問での募集でしたが、やはりテーマがテーマだけに、恋愛物の応募が多かった模様。

【初めての夜小説賞】

[http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/first\\_night\\_result/](http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/first_night_result/)

なお入選作品は「望まぬ政略結婚を目前に控えた侯爵令嬢が執事と身分違いの恋に落ちて……」という内容だとか。

これで初めての夜ですからね。

これは禁断ロマンス期待しちゃいますよね。

そんなわけで読もうと思ったらリンクが……ない……だと？

そうでした。

そういえば総評に以下の文言がありました。

「受賞作は 8 月 30 日に配信される e コバルト文庫電子オリジナル作品『「はじめての夜」アンソロジー(仮)』に収録されます」

発表時に受賞作を読めないのは残念ですが、電書化というのも応募者にとっては魅力ですし、配信されるのを楽しみに待とうと思います。

以上、初めての夜小説賞の結果発表の話題でした。

## 第4回ラジオドラマ短編賞の発表- 2019.06.02 Sun

---

こんにちは、らくだです。

小説家になろうで開催された「第4回 MBS ラジオドラマ短編小説賞」の最終結果発表がありました。

以下リンク。

受賞様はおめでとうございます。

【特設ページ】

<https://syosetu.com/event/m-radio2018/>

第3回までは短編小説の募集でしたが、今回は「童話・詩・エッセイ」という、いわゆるその他ジャンルの募集でした。

なお受賞作品は童話です。

小説家になろうで閲覧できるのでアドレスを掲載。

【ルビーのジャム（亀沢かおりさん）】

<https://ncode.syosetu.com/n0197fm/>

ほっこりアニマル童話かと思いきや途中で泣かせにくる展開……！

もうね……。

最近歳のせいかすっかり涙腺が緩くなって……。

とにかくハートウォーミングな童話なのですが、これをフリーザ様（の中の声優さん）が朗読すると思うと、どんな感じになるのか想像がつかないですね。

なお放送予定は7月頃だとか。

日程が発表されたら紹介したいと思います。

## 自作ゲームコンテスト 2019 - 2019.06.03 Mon

---

こんにちは、らくだです。

えんため大賞自作ゲームコンテスト 2019 の募集が始まりました。

小説ではなくゲームですが、えんため大賞の関連情報ということで、リンクを紹介しておきます。

【自作ゲームコンテスト 2019】

[https://www.enterbrain.co.jp/entertainment/originalgame\\_2019.html](https://www.enterbrain.co.jp/entertainment/originalgame_2019.html)

- ・ 募集内容 「RPG ツクール MV」を使用した自作ゲーム
- ・ 応募締切 2019年9月30日（月）
- ・ 結果発表 2019年12月下旬予定
- ・ 参加資格 年齢・性別・国籍・プロ・アマ問わず（グループ応募も可）
- ・ 受賞賞金 大賞 50万円＋トロフィー＋ノベライズとコミカライズ確約

なお選考基準の1つに「プレイヤーが感動する、笑う、泣くなど何らかの強い感情を覚える内容であること」と書いてあります。

確かにこれは重要ですよね。

ゲームはもちろん小説や映画やマンガでも。

作品自体がフィクション（作りごと）でも、創作物を通して笑ったり泣いたりすれば、その感情は現実を生きるための活力になるわけで。

そう考えると自分は創作物から大きなパワーをもらってきました。

これまでの人生を振り返るとどれほど助けられたかわかりません。

今はまだ受け取る一方の立場なんですけど、いつか提供する側になれる日を夢見て、これからも活動を続けたいと思います。

心と思ったんですが、無関係な人に口出しされた時「外野は黙ってる」と言いますが、家族に口出しされた時「内野の意見は聞こう！」とは思わないですね。

だから何ってわけでもないんですが。  
あれこれ考え始めると日本語って不思議です。

さてさて。  
日本語と言えば第 11 回日本語大賞の募集が始まりました。

【第 11 回日本語大賞】

<https://www.nihongokentei.jp/grandprize/>

- ・ 受付期間 2019 年 6 月 1 日（土）～9 月 30 日（月）
- ・ 結果発表 2020 年 2 月中旬
- ・ 規定字数 1,600～2,400 字（一般の部）
- ・ 応募方法 郵送のみ受付、ウェブ応募不可

テーマ

小学生の部・中学生の部「おもしろい日本語」  
高校生の部・一般の部「美しい日本語」

美しいと言っても色々な観点があると思います。  
単語の持つ美しさ、文法的美しさ、言い回し的美しさ。

しかし一番重要なのは使う人がどんな気持ちを込めるかですね。  
それによって言葉は美しくもなるし汚くもなるんじゃないでしょうか。

というわけで。  
自分も普段使う日本語に美しい気持ちを込めたいと思いました。

こんにちは、らくだです。

今日は外部で弥生会計の研修を受けてきました。  
大変でしたが会社の外へ出て良い気分転換になりました。

しかしアレですよ。  
弥生会計って便利ですが数字の入力ばかりで味気ないんですよ。

どうせなら今時の流行に乗って、美少女ナビゲートキャラと会話できる機能とか実装しちゃって、ユーザーのやる気を引き出したらいんじゃないかと思うんですよ！（力説）

いや待って。  
わたし女だからナビゲートキャラは男性がいい。

もし入力間違えたら、白学ランのクール系生徒会長が辛辣に叱ってくれる機能とかあったら、喜んで間違え続ける。

ううん間違えたらダメだ。  
それなら売上伸ばしたら褒められる機能にしよう。  
あるいは貯めた収益でメガネを買って装着してもらえる機能はどうだろう。

ということを考えているうちに研修が終わりました（オチ）

大丈夫問題ない！  
普通の使い方もマスターしたから！

というわけで今回はチラ裏日記になりましたが、まあこのブログは基本的に常時そうですし、今後もマイペースにやっていきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨム甲子園 2019 の公式ページがオープンしました。

応募要項は以下。

今年もロング部門とショート部門が実施されます。

【カクヨム甲子園・ロングストーリー部門】

[https://kakuyomu.jp/contests/kakuyomukoshien2019\\_long/detail](https://kakuyomu.jp/contests/kakuyomukoshien2019_long/detail)

【カクヨム甲子園・ショートストーリー部門】

[https://kakuyomu.jp/contests/kakuyomukoshien2019\\_short/detail](https://kakuyomu.jp/contests/kakuyomukoshien2019_short/detail)

今年はキリンレモン賞はありませんが、その代わりに、キンコーズ・ツクル賞が登場しました。

キンコーズは印刷会社です。

受賞した場合その作品を製本して 20 冊分もらえる模様。

【キンコーズ・ツクル賞について】

[https://kakuyomu.jp/info/entry/koshien2019\\_tukuru](https://kakuyomu.jp/info/entry/koshien2019_tukuru)

友達に配るもよし、献本するのもよし。

自分の作品を 20 冊もらったら色々な使い方がありそうですね。

なおキンコーズ・ツクル賞を狙う場合、カクヨム甲子園にエントリーした上で作品へのタグ付けが別途必要となっており、自動参加にはならないので注意しましょう。

以上、カクヨム甲子園 2019 の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

カクヨム甲子園が開催されても！  
年齢制限を超えちゃって参加できない！

なんてユーザーを意識してか、今年はカクヨム甲子園本体とは別に、誰でも参加可能な姉妹コンテストが開催されるようです。

【大人も子供も参加できる！ カクヨム甲子園《テーマ別》】

[https://kakuyomu.jp/contests/kakuyomukoshien2019\\_theme/detail](https://kakuyomu.jp/contests/kakuyomukoshien2019_theme/detail)

- ・開催期間 2019年7月19日（金）～9月16日（月）
- ・規定字数 3,000文字～15,000文字（要完結）
- ・結果発表 2020年2月頃予定
- ・受賞特典 賞金3万円（大賞1名）&アンソロジーに掲載

完結短編作品の募集でテーマは以下4つです。

書き手の年齢は不問ですが読者は中高生を想定とのこと。

なお応募できるのは1テーマにつき1作品のみなので気を付けましょう。

- ・「扉の向こうは不思議な世界」
- ・「恐怖はSNSからはじまった」
- ・「キミは絶対に騙される」
- ・「きのう、失恋した」

読者として楽しむのもいいですが、やはりコンテストは自ら応募した方が何倍も面白いので、高校生以外のユーザーも参加できるのはいいことだと思います。

以上、カクヨム甲子園2019姉妹コンテストの紹介でした。

## カクヨム RT キャンペーン - 2019.06.08 Sat

---

こんにちは、らくだです。

前回カクヨム甲子園の紹介をしましたが、書き手以外のユーザーも参加できる、ツイッターキャンペーンが開催中です。

詳細はこちら。

抽選で 20 名に図書カードが当たるようです。

【RT して図書カードをもらおうキャンペーン】

<https://kakuyomu.jp/special/entry/kakuyomukoshien#campaign>

- ・開催期間 2019年6月7日（金）～7月19日（金）
- ・当選賞品 図書カード NEXT 500 円分（抽選で 20 名）
- ・応募方法 カクヨム公式アカウントをフォローした上でカクヨム甲子園の紹介ツイートを RT する

なお上のページの情報によると、今後も各種キャンペーン（連動イベント、選手宣誓、応募者応援企画等）を予定している様子なので、詳細情報の発表が楽しみです。

それからもう 1 つ。

前回紹介した姉妹コンテストの読者審査員の募集要項がアップされました。

こちらは中高生限定なので、応募可能なユーザーが限られますが、ご興味のある方はチェックを。

【読者審査員 募集要項】

<https://form.enq.kadokawa.co.jp/cre/?enq=WA5cl9DpKV8%3d>

以上、カクヨム RT キャンペーンと読者審査員に関する情報でした。

こんにちは、らくだです。

今日は7日公開の映画「アラジン」を観に行ってきました。

結論から言うぜ。

凄いクオリティだった。

みんなも絶対に観てくれマジで。

いやもう興奮して10年振りに映画パンフ買ったと言えば私の本気が伝わるんじゃないかと。



もともとディズニー映画のアラジンは92年に公開されました。

私も当時から大好きでDVDはセリフを覚えるくらい何度も観ました。

それが27年たった今、近年の実写化ブームに乗って公開されたわけですが、アラジン大好きな私も最初はぶっちゃけ斜に構えてたんですよ。

実写化ってジーニーどうすんの？

あんな漫画チックなキャラ表現できんの？

でも実際に観たらジーニーが本当にジーニーで、アニメそのままのノリと勢いで魔法バンバン使いまくって、でも同時に「こんな人いそうだな〜」っていう謎のリアリティも持ってるという。

本当にすみませんでした。

ディズニーの本気なめてました。

なおアラジンは名作中の名作なので、今さら私が言うまでもないと思いますが、ストーリーが本当に素敵ですよ。

願いを叶えるランプの魔人。  
空を飛べる魔法のじゅうたん。  
お姫様との身分違いのロマンス。

この3行だけでも胸がときめくじゃないですか！  
しかもさり気なく主人公の成り上がり要素もあるし！

というわけで。  
普段ディズニー観ない人もこのアラジンだけは観て欲しい。

私も観た後すごく執筆意欲を刺激されたので、なかなか長編を書く余裕はないですが、久し振りに創作の案を練りたいと思いました。

## 第 26 回電撃の応募数 - 2019.06.10 Mon

---

こんにちは、らくだです。

今日は 6 月 10 日ということで電撃の応募数が発表されました。

### <電撃小説大賞の応募数>

- ・ 第 16 回 (2009 年) 4,602 本
- ・ 第 17 回 (2010 年) 4,842 本 (↑)
- ・ 第 18 回 (2011 年) 5,293 本 (↑)
- ・ 第 19 回 (2012 年) 6,078 本 (↑)
- ・ 第 20 回 (2013 年) 6,554 本 (↑)
- ・ 第 21 回 (2014 年) 5,055 本 (↓)
- ・ 第 22 回 (2015 年) 4,580 本 (↓)
- ・ 第 23 回 (2016 年) 4,878 本 (↑)
- ・ 第 24 回 (2017 年) 5,088 本 (↑)
- ・ 第 25 回 (2018 年) 4,843 本 (↓)
- ・ 第 26 回 (2019 年) 4,607 本 (↓) < NEW >

今年は微減するっていうワイの予想的中やで！！

ああ別に減って喜んでるわけじゃないですよ。

電撃の評価シートに個人的な恨みなんてないですしおすし。

むしろ応募者が増えてくれたら、そのぶん落選者も増えるわけで、闇落ちするワナビ仲間が増えて嬉しい的な？

いやすみません。

落ちる前提はやめましょう。

とにかく今回は微減という結果でしたが、それでも最大規模（ネットコンテスト以外で）なのは変わらないですし、投稿された皆様の通過を願っております。

こんにちは、らくだです。

カクヨムにブロック機能が追加されました。  
設定すると特定ユーザーのフォローやコメントを拒絶できます。

【ブロック機能の追加】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2019/06/10/161208>

ネットのやり取りって楽しいと同時に難しく、私もこれまでたくさん失敗をしてきました。

例えば作品に酷評がついた場合。  
明らかな誹謗中傷なら無視すればいいでしょう。

ただ相手側に悪意はなく、こちらが誹謗中傷だと感じて、本人はアドバイスのつもりで発言している場合もあるわけで。

この見極めが難しいんですよね。  
顔の見えない相手と文字だけで意思疎通しているわけですし。

とにかく何にせよ、創作を通じた交流って本来は楽しいはずなのに、それが原因で精神衛生に支障をきたすなんて残念ですし、そんな場合はブロック機能を活用するのも1つの手なんじゃないかと思います。

そうは言っても、多用したくはない機能ですし、まずは敬意と思いやりを持って相手に接することが何より重要。

自分も出来ていないんですが、だからこそ反省の意味も込めて、強くそのように感じました。

こんにちは、らくだです。

お馴染みのコバルト短編小説新人賞ですが、サイトの大幅リニューアルを記念して、第 203 回はお題に沿っての募集となります。

応募要項はこちら。

8 月 10 日まで約 2 か月の募集です。

【コバルト短編小説新人賞】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award-apply/>

- ・ お題 「しまもよう」
- ・ 応募締切 2019 年 8 月 10 日（土）
- ・ 規定枚数 400 字詰原稿用紙 25～30 枚
- ・ 投稿方法 郵送投稿またはウェブ投稿
- ・ 受賞賞金 入選 20 万円、佳作 10 万円

しまもよう。

あえての平仮名表記にこだわりを感じる。

しかし、コバルトの企画は毎回ほんと変化球だなーと。

お題が出題されると告知で聞いた時は、もっとう「三角関係」とか「年の差ラブ」とかシチュエーションを指定するものだと思ったんですが、まさかの「しまもよう」ですからね。

そういうわけで一見難しそうですが、このテーマで何か思いついた皆様は、お題アリの記念回に応募してみてはいかがでしょうか。

以上、コバ短のお題に関する話題でした。

ラノベの主人公ってなんで 10 代ばっかなの？  
もっと大人が活躍する作品を読みたいんだけど？

なんて思っていたらカクヨムでオーバー 30 歳コンテストが開催されるとか。

ちなみに 30 歳以上というのは、書き手の年齢ではなく主人公の年齢で、書き手は何歳でも応募できます。

【オーバー 30 歳主人公コンテスト】

[https://kakuyomu.jp/contests/over30\\_main\\_character/detail](https://kakuyomu.jp/contests/over30_main_character/detail)

- ・ 募集内容 主人公が 30 歳以上の小説（主人公の性別は不問）
- ・ 受付期間 2019 年 7 月 5 日（金）～9 月 2 日（月）
- ・ 中間発表 2019 年 11 月上旬頃
- ・ 結果発表 2019 年 11 月末頃
- ・ 規定字数 10 万字～16 万字（要完結）
- ・ 受賞特典 富士見 L 文庫もしくは KADOKAWA より書籍化

これ私もまさにそうなんですけど、ラノベ黄金期に読者だった人々が今は 30 代や 40 代になっているわけで、そういう層を狙った企画なのかなと。

10 代と 30 代ってやっぱり色々違いますよね。  
特に仕事観や恋愛観は大きく変化するんじゃないでしょうか。

もちろん大人ならではの苦勞もありますが、逆に 10 代の時にはなかった手応えや充実感もあるわけで、そういうところがリアルに表現されていると、今の自分はすごく自然に共感できそうな気がします。

以上、オーバー 30 歳主人公コンテストの紹介でした。

こんにちは、らくだです。

コバルトの連載企画「小説を書くためのプチアドバイス」が更新されました。

今回は三浦しをん先生が読者の質問に答えています。

濃い内容なので質問を送らなかった皆様も是非チェックを。

【第 19 回小説を書くためのプチアドバイス】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/column-miura-shiwon/003062/>

今回の質問

- ・小説を書くための集中できる環境づくり（具体的にはデスクのつくりかた）について教えてください。
- ・自作のどこが悪いのかわからなくなるときがあり、でも周囲に小説を読んでもくれる人があまりいなくて、誰にアドバイスをもらえばいいのか悩んでいます。
- ・小説を書くのに人生経験は必要だと思いますか？

どれも投稿者にとって身近な悩みですが、特に「自作のどこが悪いかわからなくて困っている」などは、誰もが直面する切実な問題ではないかと。

それに対する答えが熱い。

そして同時にものすごく長い。

短くまとめると「あまり他人の意見に振り回されない方がいい、作品にとって最善の道を判断するのは自分」という返答です。

詳しくは原文を読んで欲しいのですがこれは非常に印象的でした。

私のような素人ではなくベテラン作家さんの言葉だと思うと重みがあります。

なお質問への回答はあと 2 回続くようなので更新されたらまた紹介したいと思います。

## ビーンズの1次発表がありました- 2019.06.15 Sat

---

こんにちは、らくだです。

普段使わないスマホで自分の名前入力したら、常木が常喜に変換されて、ちょっと縁起が良さそうでほっこりしました。

常鬼じゃなくて本当によかった！（そこ）

さてさて。

前置きとは関係ありませんがビーンズの1次発表がありました。

以下リンク。

通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://beans.kadokawa.co.jp/award/18th-award/entry-1580.html>

女性向けレーベルの1次発表というと、ノベルで23本通過した伝説の投稿者さんを思い出しますが、今回のビーンズは2本通過の方がいらっしゃるのみです。

もちろん2本通過だって十分に凄いんですが。

1本すら仕上げられない最近の自分は本当にそう思います。

いやこれは時間がないせいであって、小説投稿への愛は変わらないし、ずっと創作のことを考えてるぜ！（浮気が発覚した男性風）

なお現在ビーンズは読者審査員を募集中です。

締切は6月20日（木）なので、読者として選考に参加したい人は、この機会に応募してみてはいかがでしょうか。

父の日 - 2019.06.16 Sun

---

こんにちは、らくだです。

今日は父の日ということで家族で寿司を食べに行きました。

回らない寿司っていいね！



ところで何度か書いた通り、自分は去年の12月に離婚して、年明けに実家へ戻りました。

その時まず両親に謝ったんですよね。

こんな結果になってしまって本当に申し訳ないと。

私自身は離婚を前向きに捉えているし、ぶっちゃけ旦那から解放されてハッピーなんですけど、それでも両親には心の底から面目ないと感じていました。

だって女の離婚とか世間体めっちゃ悪いじゃないですか。

今は昔よりマシだろうけど昭和人間の両親は気にするだろうなって。

そう思って謝ったらこう言われました。

怒られる前提だった私にとってそれは予想外の答えでした。

「離婚するかどうかよりも、一番大事なのは、お前が幸せであることだ」

こんなん泣くわ。

涙の黒部ダムが大決壊だわ。

それと同時に気付きました。

私は自分で思っている以上に両親に愛されていたのだと。

とまあそういう話ですが、離婚しなければこんな気付きもなかったはずなので、離婚に感謝と言ったら変ですが「失うことで初めて手に入る物もあるのだなあ」と感じた次第です。

そんなこんなの日でした。

家族を失った自分だからこそ家族の大切さを今後も忘れずに過ごしたいです。

こんにちは、らくだです。

先日紹介したコバルトの質問企画で、集中できる執筆環境づくりという話題があったので、今日はその件について考えてみます。

【第 19 回小説を書くためのプチアドバイス】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/column-miura-shiwon/003062/>

集中できる執筆環境。

何の芸もないですが私の場合は自分の部屋です。

いやだって喫茶店って落ち着かなくないですか？

周囲の物音も気にかかるし、お店の人に邪魔だと思われてないか心配だし、そもそも引きこもり体質だから家にいる時が一番安心できるという。

と思ったけど今日ふと気付きました。

そういえば自分は電車の中で寝るのが大好きだと。

電車なんて揺れるし、もちろん周囲も騒がしいし、爆睡したら荷物も心配だし、乗り過ごしてしまう可能性だってあります。

冷静に考えたら不安要素だらけなのに、電車に乗っているとリラックスしてよく眠れるし、なんなら立ったまま寝て膝カクンするような有り様で。

つまり落ち着けるかどうかには周囲の物音はあまり関係なく、結局はその人とその場所の相性次第なのかなと思いました。

同じ作業をするにしても、落ち着く場所と落ち着かない場所では能率にも差が出ますし、執筆する際は自分にとって一番集中できる環境で取り組みたいですね。

こんにちは、らくだです。

父の日の話が好評だったので今回はその続きを。

前回書いた通り自分は両親に感謝しているわけですが、何か恩返しができないかと思い、前に通っていたカウンセラーの先生に相談しました。

先生いわく、

「特別なことは何もしなくていいんじゃない？ それよりあなた本人が幸せでいることが一番のプレゼントだと思う」

さすがプロのカウンセラー。

シンプルですがこの上もない正論です。

でもわたし何かしたいんですよ！

この感謝を形で表現したいんですよ！

そしたら先生いわく、

「お店にある物はお金を出せば誰でも買える。でも、あなたの笑顔はそうじゃない。あなた自身が笑わない限り、あなたの笑顔は誰も見ることができないでしょう？ だからそれを、たくさん両親に見せてあげて」

なるほど言われてみれば。

好きな人の笑顔を見たら幸せな気分になりますよね。

まあ恋愛面では失敗した私ですが、見たい見たいと願うだけじゃなく、自分が見せることも大切なわけで。

というわけで、大袈裟に恩返しだなんて考えず、まずは自分が笑顔でいることを心がけようと思いました。

会社の先輩に「常木さん英語できるんだって？」と聞かれ、「ええまあ、シンガポールに2年住んでましたから～」とアピールしたら、その先輩はイギリスに10年住んだ経験のある人でした。

調子に乗ってすみません……。

イギリス10年とか格が違いすぎる……。

まあとにかくその先輩を手伝うことになって、近ごろ英語の案件を担当しているわけですが、私の語学力では何が何だかさっぱりわからず。

そこでグーグル翻訳の出番です！

鬼のように長い英文メールも一瞬で日本語に！

【グーグル翻訳】

<https://translate.google.co.jp/>

しかし先日、グーグル翻訳で訳したメールを読んでいたら、真面目なビジネス文書の中に突然こんな一文が。

「アザラシを送る際の送付方法は書留がいいでしょうか？」

アザラシだと？

しかも書留で送るだと？

動揺しつつ原文を確認したら「seal（印鑑）」を「seal（アザラシ）」と訳していたというオチでした。

シールってアザラシって意味もあるんですね（知らなかった）！

以上グーグル先生のおかげで1つ賢くなりました。

これからもグーグル先生を頼りに生きようと思います。

こんにちは、らくだです。

梅雨って鬱陶しいなー。

早く終わってくれないかなー。

と思って梅雨明けの平均時期を検索したら、明ける以前に、そもそも近畿は梅雨入りしてなかった件。

そうか……。

まだ始まってすらいなかったのか……。

つまり要するに「オレ達の梅雨はこれからだ！」ってことですね。

さてさて。

前置きとは無関係ですがノベル大賞の 3 次発表がありました。

【発表ページ】

<http://orangebunko.shueisha.co.jp/novel-award/result>

- ・ 1 次通過 471 本
- ・ 2 次通過 191 本
- ・ 3 次通過 59 本

応募数が不明なので通過率を出せませんが、たぶん最終発表時に公表されるはずなので、判明したらまとめて載せようと思います。

ここまで来るとさすがにだいぶ絞られました、それでも 3 作残っている方もいらっしゃるし、7 月の 4 次発表を楽しみに待ちたいところですね。

以上、ノベル大賞 3 次発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

公募ガイドで開催中の賞金獲得レースですが、読者枠の10名が決定し、参加者の写真とコメントが公開されました。

以下リンク。

読者枠は女性が圧倒的に多い模様。

【賞金獲得レース】

<https://www.koubo.co.jp/race/>

本気で優勝を狙っている人。

怠け予防にエントリーした人。

あくまでマイペースに活動する人。

参加の理由は人それぞれですが、さすが創作好きの皆様だけあって、公募が好きだという気持ちがコメントから伝わってきます。

なんかこういう感じっていいですよ。

公募って基本は地味じゃないですか。

当たり前だけど作業中はずっと一人なわけですし。

でもだからこそ、頑張っている人を見ると励みになるし、触発されて「自分もやるぞ!」という気持ちになるというか。

この企画もそういう効果があると思うので、まずは参加者のレポートを楽しみにしつつ、何か面白いことがあれば紹介したいと思います。

以上、賞金獲得レース読者枠決定の紹介でした。

## カードがロックされた件 - 2019.06.22 Sat

---

ソシャゲ課金で短時間にかなりの金額使ったらクレジットカードがロックされて使用不能になった件。

いや待ってくれ。

限度額には余裕があるはずだ。

この日のためにわざわざ空けておいたんだから。

というわけでコールセンターに電話しました。

当然ですが本人確認でまずは色々聞かれました。

「名前、住所、電話番号、生年月日、カードの使用目的を教えてください」

カードの使用目的だと？

ソシャゲ課金に決まってるだろ！

今すぐアルジュナオルタ取りてえんだよ！

という本心は言わず「グーグルの電子支払いです」と丁寧に答えました。

あと生まれ年の干支も聞かれました。

たぶんなりすまし防止の質問なんでしょうね。

もちろん自分は本人だからちゃんと即答できましたが。

なお照合の結果、

「短時間に大きな金額を使ったため、紛失・盗難による悪用と判定されて、自動的にロックされてしまったようです」

だそうです。

限度額が足りていても数分以内に連続して使うとダメなんだとか。

ちなみに本人確認できたので、ロックはすぐ解除されましたが、さすがに懲りたので次は休み休み課金しようと思いました（課金自体は懲りてない模様）

というわけで。

こんな人はいないと思いますが皆様も十分に気を付けてください。

前回カード課金の話をしましたが、ブログ用にちょっと大袈裟に書いているだけで、実際は余力で楽しんでいるのでどうか心配しないでください。

そもそも誰も心配してない？

それはそれで M 的にオイシイから OK です！

しかしまあ、アレですね。

ガチャだけに限らず、結婚してた時は「私は専業主婦だから」という強い引け目があって、何か欲しい物があっても基本的にずっと我慢してたんですよ。

自分は養ってもらってる立場なんだからって。

そしてまた夫も夫で専業主婦を見下すような部分があって。

何年もそれで普通だったんですが、今年になっていざ離婚してみたら、あの遠慮は何だったのと思うほど一気に視界が晴れたというか。

今は自分で稼いだお金を自分に対して使っている。

ただそれだけで圧倒的に呼吸しやすくなりました。

なおこれは、私と旦那の人間関係の築き方に問題があったからで、専業主婦そのものが悪いというわけではもちろんありません。

とにかく離婚っていいですよ。

もちろんしないのが一番ではありますが。

でも悩んでいる人が万一いたら全力で背中を押したい。

結局何が言いたいかというと、恋愛は二次元が最高なので、今後も課金しようと思いました。

通販で CD 買ったなら送り状の商品名が「高価プレミアムグッズ」になってて思わず真顔になった件。

ちゃんと商品名書いてくださいよ！（汗）  
そんな言い方したら逆に怪しいじゃないですか！

というわけで今回は通販に関する話題を。  
日本郵便が置き配体験モニターを募集しています。

置き配とはその名の通り、玄関前に受け取り袋を設置して、そこに荷物を入れてもらうという仕組みです。

【置き配体験モニター】

[https://www.post.japanpost.jp/event/okihai\\_monitor/](https://www.post.japanpost.jp/event/okihai_monitor/)

<応募条件>

- ・当選後 2 回のアンケートに回答すること
  - ・月に 2~3 個以上通販の購入商品を宅配便で受け取っていること
  - ・オートロック環境の住居にお住まいでないこと
  - ・玄関先に「OKIPPA」を設置できる環境があること
- (他にもいくつか条件あり)

応募期間は 6 月 24 日~8 月 26 日。  
募集人数は 10 万世帯となっています。

当選すると本来は 4,000 円程度する置き配バッグが無料で貰え、モニター期間が終わった後も使い続けることができる模様。

というわけで。  
通販をよく利用される皆様はチェックしてみてもいいかもしれません。

## 第 10 回創作漢字コンテスト- 2019.06.25 Tue

---

こんにちは、らくだです。

今回は創作漢字コンテストについてご紹介。

自分でオリジナルの漢字を作って応募するという少し変わったコンテストです。

【第 10 回創作漢字コンテスト】

<https://sousaku-kanji.com/about.html>

アンバサダーの武田鉄矢さんのコメントが、ウィットに富んでいて面白いと感じました。

「女」は何を添えるかで変化する。

「安」らぐ、「努」める、「怒」る……。

扱いによって「努」にもなれば「怒」にもなるのだ。

(勝手にまとめたので詳細は原文をご確認ください)

それで急に思い出したんですが。

たぶん T.M.Revolution の蒼い霹靂だったかな。

出だしの歌詞が「恋の中にある死角はシタゴコロ」なんですよ。

これって事実だよな。

恋の中には下心あるもんな。

いやあったらダメだけど実際あるわ。

ちなみに漢字の部首も下心なのでダブルミーニングという。

あと 2 番の歌詞は「恋の字の中に四画のシタゴコロ」でこれも事実という。

そんなわけで、漢字の奥深さに思いを馳せつつ、明日の通勤電車では久し振りに TM を聴こうと思いました。

こんにちは、らくだです。

本日やっと九州北部、中四国、近畿地方で梅雨入りしたそうです。  
なんでも6月26日というのは観測史上もっとも遅い梅雨入りだとか。

まあ令和ちゃんは梅雨初めてだもんね！  
今年は遅れちゃったけど来年は頑張ろうね！

なんて令和ちゃんをドジっ子扱いしている私ですが、ドジっ子といえば、3月に書いたこの記事覚えていますでしょうか。

[「面接を受けに行った会社でチャイムと思って防犯ベルを鳴らしてしまった件」](#)

相手にインパクトを与えたのは間違いありません。  
いきなり防犯ベルを鳴らす応募者はそういないでしょうから。

とにかく結果的に採用してもらえ、ようやく試用期間も終わったので、今回は証拠写真を撮ってみました。

これ……どう思います？



これはチャイムだと思っちゃうでしょ！  
いやまあ確かにセコムって書いてあるけど！

しかしこれ、押す人が続出すると思ってたんですが、間違っ鳴らした訪問者は今のところ一人もおらず、自分の感性が変なのかと疑い始めている最近です。

というわけで。

今年は令和ちゃんと一緒にドジっ子を卒業したいです。

こんにちは、らくだです。

2019年8月3日に「カクヨム甲子園 2019」の連動イベント「超拡大文芸部」が開催されます。

それに伴い参加グループ（高校の文芸部）の募集が始まりました。

ウェブカメラを使って参加高校をつなぎ、リアルタイムでアイデアをシェアしながら、物語を作り上げていく企画のようです。

【超拡大文芸部】

[https://kakuyomu.jp/info/entry/koshien2019\\_campaign02](https://kakuyomu.jp/info/entry/koshien2019_campaign02)

こういうイベントって素敵ですよ。

自分の高校は文芸部がなかったから懂れます。

なお私の出身校は、制服が可愛いと言われている女子校で、世間では「着て歩くだけでナンパされる」という評判でした。

しかし言おう！

着て歩いたけど自分はナンパなんかされなかったぞ！

まあ当然っちゃ当然ですが、どれほど制服が可愛くても、顔が悪ければ問題外ということですね（絶望）

という残酷な結論はさておき、参加グループの募集締切は7月15日なので、条件に該当する方がもしあればチェックしてみてください。

以上、超拡大文芸部の話題でした。

## 第7回暮らしの小説大賞 - 2019.06.28 Fri

---

こんにちは、らくだです。

今年は梅雨入りが遅かったわけですが今頃になって毎日大雨。  
地域によっては滝のような集中豪雨が降っていると聞きました。

雨だと気分も滅入りますが、洗濯物が乾かなかったり、暮らしに影響が出るのもイヤですよ。

さてさて。

暮らしといえば「暮らしの小説大賞」が今年も開催。

以下のページに応募要項が公開されています。

【第7回暮らしの小説大賞】

<https://www.shc.co.jp/book/kurashi/>

- ・ 募集内容 心をゆさぶるエンタテインメント小説（ジャンル不問）
- ・ 規定枚数 400字詰め原稿用紙換算で200～500枚程度
- ・ 応募締切 2019年10月31日（木）
- ・ 参加資格 プロ・アマ問わず
- ・ 投稿方法 ウェブ投稿のみ
- ・ データ形式 「.doc」「.docx」「.txt」
- ・ 大賞の賞金 100万円&単行本として出版確約

この賞は規定枚数の幅が広く、字数にすると8万～20万字程度なので、中編から超大作まで応募することが可能です。

というわけで。

一般文芸の投稿者さんはチェックしてみたいかがでしょうか。

こんにちは、らくだです。

たびたび紹介している公募ガイドの賞金獲得レースですが、芸人さんの途中経過レポートが続々とアップされています。

早くも入選する芸人さん。  
落選して落ち込む芸人さん。

それぞれの参加者が十人十色の公募ライフを送っている模様です。

#### 【賞金獲得レース】

<https://www.koubo.co.jp/race/#panel-3>

すべて読みましたが、

- ・結果待ちの不安な気持ち → わかる
- ・落選して悔しがる気持ち → わかる
- ・入選して舞い上がる気持ち → わかる

というわけで。

どのレポートを読んでもわかりみがすごい。

特に共感を感じたのは「入選作品読んだら“あたしのが良いけどなあ”って思ってしまう」というコメントですね。

入選作との実際の比較はまた別問題として、思わずそう考えてしまうほど落選を悔しく感じるのは、投稿者あるあるなんじゃないでしょうか。

そんなわけでこの企画、もはや他人事とは思えないので、これからも経過を追っていきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで新コンテスト「スニーカー文庫《シチュエーション斬り！！》コンテスト」が開催決定した模様です。

### 【応募要項】

[https://kakuyomu.jp/contests/sneaker\\_situation/detail](https://kakuyomu.jp/contests/sneaker_situation/detail)

- ・ 募集内容 下記のシチュエーションを扱った小説
- ・ 受付期間 2019年7月1日（月）～8月31日（土）
- ・ 規定字数 完結・未完問わず 50,000字以上
- ・ 大賞特典 担当編集がつく&スニーカー文庫ベスト3冊贈呈

提示されたシチュエーションは以下の2つ。

今回は部門を選んでどちらかへ応募する形となります。

1「お隣さんの美少女がなぜか俺に惚れている」  
甘くて悶えるようなシーンがたくさんあること

2「双子のヒロインが迫ってくる……どっちもどっちで選べねえ……」  
違う魅力を持った二人のヒロインとのラブコメ

どちらも王道ラノベシチュですが、コンテスト名に「斬り」とある通り、単純な予想の上を行く作品が求められているようです。

というわけで。

我こそはという皆様は応募してみてもいいでしょうか。

以上、シチュエーション斬りコンテストの紹介でした。